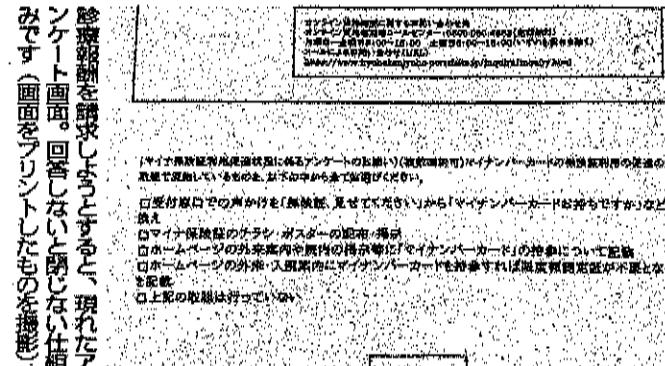


2/26
五種

アンケート答えるないと請求不可



マイナンバーカードの読み取り機に読み取ったうえで、マイナンバーカードの発行機関名の欄を記入して、それを読み取らせてください。

受付窓口での声かけを無効化、見せてくださいからマイナンバーカードを持ちですかなどに切り替え
マイナ保険証のクリアガスクロスカード
ホームページのルネッサンスカードにマイナンバーカードの持主について記載
ホームページの外連・入院窓口にマイナンバーカードを持参すれば医療費控除が不要となることを記載
上記の取扱は行ってない



マイナンバーカードの読み取り機を説明する
井上美佐院長=大阪府守口市の北原医院

「診療報酬を請求しようとすると、現れたアンケート画面。回答しないと領じない仕組みです（画面をアレンジしたもの）」

「アンケートに答えるないと、収入になる診療報酬の手続きができない」。医療機関から困惑の声が上がっています。そのアンケートの送り主は厚生労働省。どんな出典なのでしょうか。

医療機関は、毎日5回から

10回までの間で、前回分の診療報酬を得るために、支払基金などに請求書（レセプト）を提出します。

大阪府守口市にある北原医院では、いつも井上美佐院長がオンラインで提出していく。促進状況が悪いアンケートの提出してほしい」というもの。画面に

閉じる機能なし
今度は、井上院長が支払基金にレセプトを送りたいし、たといひ、アンケート画面が出てきました。内容は「マイナ保険証利用のための取組で実施しているものを、以下の申込金でお選びください」となっていました。

現行廃止するな

井上院長はいいます。アンケートは「マイナンバーカードの保険証利用の促進のための取組で実施しているものを、以下の申込金でお選びください」となっていました。選択肢があるのをやめなければ、あんまり圧力を感じた。しかしアンケートはやめられました。井上院長は「医療機関が何と答えたのか、知る立場。私たちがレセプトを審査される弱い立場です。どう答えるか、不審がよきりました。選択肢はあることをやめなければ、あんまり圧力を感じた。しかしアンケートはやめられました」と話します。

厚労省

は、閉じるマークやズキンプボタンから「マイナンバーカードを操作ですか」などに切り替わる機能がない「答えない」と「レセプト提出画面にどうなりますか」などの項目です。井上院長は「厚労省側は、『診療報酬を人質にした』との医療機関が何と答えたアンケートの強制だ」とか、知る立場。私たちがレセプトを審査される弱い立場です。どう答えるか、不審がよきました。選択肢があることをやめなければ、あんまり圧力を感じた。しかしアンケートはやめられました」と話します。

井上院長はいいます。一方で、「マイナ保険証」での受診は低調です。厚労省はこの間、「マイナ保険証」が普及しないのは、医療機関が窓口で使用を求めることが原因かのような錯覚をしていました。

井上院長は、開業医のつくる全国医療医師団体連合会の副会長でもあります。

「熊谷平島地獄を見て、もろくも医療医師団体連合会の受診するのに『マイナ保険証』しか使えないことの不便さが想像できます。現行の健康保険証を残すか、どう運動が寒くなる可能性はあります。も

「マイナ保険証を『人質』に『圧力』に